

第4回 「内視鏡検査直前に意識障害を呈した50歳台女性」 (2012年4月号)

ここでは、連載誌面ではご紹介できなかった、より詳しい解説を掲載しています。臨床推論をより深く学ぶうえで役立つ情報が載っていますので、ぜひご活用ください。

① GCS (Glasgow Coma Scale) と JCS (Japan Coma Scale) の対比 (p.116)

JCS	GCS		
	E: 開眼	V: 発語	M: 最良運動反応
刺激しなくても覚醒している状態			
0: 意識清明	4: 自発的に	5: 見当識あり	6: 命令に従う
1: だいたい意識清明だが、いま一つはっきりしない	4	5	6
2: 時・人・場所がわからない (見当識障害)	4	4: 混乱した会話	6
3: 自分の名前・生年月日が言えない	4		
刺激すると覚醒する状態			
10: 普通の呼びかけで容易に開眼する	3: 呼びかけにて	3: 混乱した言葉	
20: 大きな声または体を揺さぶると開眼する	3		
30: 痛み刺激にかろうじて開眼する	2: 痛み刺激にて	2: 理解不能な音声	
刺激しても覚醒しない状態			
100: 痛み刺激に対して払いのけるような動作をする	1: まったくなし		5: 疼痛部へ
200: 痛み刺激で手を動かしたり、顔をしかめる	1		4: 逃避
			3: 異常屈曲
			2: 異常伸展
300: 痛み刺激にまったく反応しない	1	1: まったくなし	1: まったくなし

[並木 淳, 他: GCSによる意識レベル評価法の問題点; JCSによる評価との対比. 日本臨床救急医学会雑誌, 10 (1): 20-25, 2007より引用]

② 意識障害の鑑別 (I WATCH DEATH) (p.116)

I : Infection	感染
W : Withdrawal	アルコールや鎮静薬の中断
A : Acute metabolic	アシドーシス, 電解質異常, 高アンモニア血症, 高尿素窒素血症
T : Trauma	外傷
C : CNS	脳卒中, 痙攣, 脳腫瘍
H : Hypoxia/Hypercarbia	低酸素, 高二酸化炭素血症
D : Deficiencies	ビタミンB ₁₂ 欠乏, 葉酸欠乏
E : Endocrine / Environment	糖尿病, 甲状腺, 副腎不全, 高体温, 低体温
A : Acute vascular	急性血管病変: 急性冠症候群, 胸部大動脈解離, 肺塞栓, くも膜下出血
T : Toxin/Drug	毒物・薬物
H : Heavy metal	重金属中毒

[入江聰五郎: 病態を見抜き、診断できる! バイタルサインからの臨床診断. 羊土社, p40, 2011より引用]

③ ケルニツヒ徴候 (Kernig's Sign) (p.118)

髄膜炎のときに起こる髄膜刺激症状といえば「項部硬直」が有名ですが、「ケルニツヒ徴候」というものもあります。股関節を曲げ、膝関節を押さえながら下腿を伸ばすと、膝が屈曲してまっすぐに伸ばせなかったり、腰を痛がったりします。これをケルニツヒ徴候といいます。YouTubeで「Kernig's Sign」で検索すれば、実際のものを見ることができます。

④ 振子様眼振 (p.118)

自分の意思とは関係なく眼球が動いてしまうことを眼球振盪といいます。両眼が左右にゆっくり動いていないかだけではなく、左右どちらかへ偏る傾向がないかについても、情報を薬剤師さんが拾えるだけで、医師にとって役立つ情報となります。これもYouTubeで「pendular nystagmus」で検索すると、実際の眼球の動きを見ることができます。